
有機 化合物！～マレイン酸とフマル酸編～

石田杞憂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

有機 化合物！～マレイン酸とフマル酸編～

【NNコード】

N6856D

【作者名】

石田杞憂

【あらすじ】

「有機 化合物！」「第三弾。これで貴方も有機化合物にハマる！」
？高校生必読の作品つ。

「マレイン酸、フマル酸は周りから双子だと思われている。実際容姿も瓜二つの幾何異性体、ともに無色の結晶だ。しかし、実際は双子ではない。

「「ただいまー」」

二人そろつて家に帰つてきた。

二階から「おかえり」と、か細い声が届いた。

そう、実は三つ子なのだ。

三人目の名前はメチレンマロン酸。一番下の弟だ。

ただ、メチレンマロン酸は体調が不安定で学校にはあまり行つていな。

そのことを気遣つてか、長男のフマル酸、次男マレイン酸はメチレンマロン酸の事を大事にしていた。

トランス型フマル酸の提案で三人は近所の「加熱公園」に來ていた。フマル酸は長男としての責任を感じているのか、

「たまにはマロンも外に出なきやいかん」

と言つて無理矢理弟を連れ出した。

メチレンマロン酸はあまり浮かない顔をしていたが、

まあ一人じゃないから大丈夫か、と思い少し気を楽にした。

そんな中、三人の内、一人にある異変が起きていた。

「あ……の……わ……」

マレイン酸だつた。

「ここつて…… 加熱公園だよな」

あたかも重病の病人のようにどぎれどぎれに言葉を発した。

「そりだけど?」

それがどうした、と言わんばかりのフマル酸。訝しげにマレイン酸を見ていた。

しかし、フマル酸はよつやく、弟の身に何が起じているか分かった。

「おお前体中から水出てんぞ……」

「やつ……なん……だ」

そうなのである。マレイン酸は160度で加熱すると分子内脱水をおこし、

無水マレイン酸へとなつてしまつのであった。

「ちょっと、おい、こりゃやべえな」

結局三人は家に戻ることにした。

長男フマル酸はこれを反省し、フマル酸を加熱公園へは連れ出さなくなつた。

しかし、兄弟以外はこの事実を知らない。

例えば、酢酸メチルもその一人だつた。

酢酸グループ社長令嬢、酢酸メチルはエステル的な性格をした、少しづがまま、

ゴーリングマイウェーな女だ。

だからこの日もその性格をフルに發揮し、

マレイン酸の腕を強引に引っ張つて公園まで連行した。全てはある一言のため。

公園に着いた途端酢酸メチルはぱつと掴んでいた手を放した。反動でマレイン酸は少しよろける。

「ああああんたに言いたいことが、その、あつて」

「……なんだ」

マレイン酸はどうも気分が優れぬ様子。

「その、今まであんたにいろいろ、迷惑とか、かけたかもしない

けど、それは、実は

「あ、そう。迷惑だつて知つてたんだ」

マレイン酸からは早く帰りたいオーラがひしひしと感じられた。

「あんたが好きだつたから！」

そして、酢酸メチルはその一言を放つた。

彼女は告白の拍子について目を閉じてしまつ。

返事が……怖かったのだ。

フラれてしまふのではないか、そんな恐怖に襲われ、しばらく田を開けずに顔を下げていた。

しかし、自分から逃げていってはいけない、と思ふ、ゆっくりと田を開ける。

そして田の前にこいぬまづのマレイン酸を

「つていなーいっ！－！」

いなかつた。

先ほどまで田の前にいた、マレイン酸の姿がすっかりないのだった。

どこにも　いなかつた。

「にげられた……」

よつぽど自分の事を嫌っていたんだろう、とがつくり肩を落とし、目を伏せる。

すると　見知ったモノがあつた。

「ああんた何してんのよっ！－！」

そこには全身から水を噴きだしているマレイン酸がいたのだ。

「お……まあ……公園の名前……見てみろ……」

ハツと酢酸メチルが振り返ると公園の入り口の、

石造りの門にはこう書かれていた。

「加熱公園」

そして……マレイン酸は既に無水マレイン酸と化していた。

マレイン酸とマル酸編

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6856d/>

有機 化合物！～マレイン酸とフマル酸編～

2010年12月28日22時56分発行